

日本イコモス EP × 学生座談会シリーズ  
2023 年第 2 回

# ユネスコで仕事を するということ

定員 20 名

(対象者：主に学生、若手の  
行政職員など、この先のキャ  
リアデザインを考える方)

参加無料

—ユネスコ日本政府代表部での勤務事例—

2023 年 7 月 29 日 (土)

16:30- 18:00 (16:00 開場)

オンライン (Zoom ミーティング)

## ●開催趣旨

日本イコモス EP 常置委員会では、日本イコモス  
会員の様々な研究者や実務家をお呼びし、学生  
などのキャリアデザインに役立ててもらおう座談  
会を開催いたします。

第 2 回目となる今回は、ユネスコ日本政府代表  
部(パリ)での勤務経験もあり、現在は フランス  
国立科学研究所 (CNRS) 研究員など多彩に活躍さ  
れている前島美知子氏にお話していただきます。  
これまで歩んでこられたキャリアや現在の職務  
内容について体験談を交えつつ、お話していただ  
きます。また今後のキャリアに関する悩みなど、ざっ  
くばらんに意見交換できる座談会形式です。

ぜひ、お気軽にご参加ください。

## ●前島美知子氏《Ph.D. (建築史。日本、フランス)》

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 (SFC) 修了後、仏政府給費留学生として  
2005 年渡仏。フランス国立科学研究所 (CNRS) ポスドク研究員を経て 2018 ~ 2021  
年にユネスコ日本政府代表部 (パリ) で専門調査員として勤務し、文化条約、JFIT (日  
本政府信託基金拠出金)、ユネスコのプライオリティ案件 (ジェンダー、アフリカ、  
危機に瀕した遺産の保護 etc) などを担当。

現在、CNRS 建築・都市・都市計画・環境研究室 (LAVUE) 研究員と個人事業主 (通訳・  
コンサルティング、フランス)。東洋経済オンライン外部オナー、シャンパーニュ  
アンリ・ジロー アンバサダー。

共著書に『サンコバン ガラス・テクノロジーが支えた建築のイノベーション』、訳書  
に『パリの街並みと暮らし知られざる魅力』など多数。

写真：大阪府の百舌鳥・古市古墳群が世界遺産登録された第 43 回世界遺産委員会 (2019 年、バ  
クー) 出張時 (右上) と第 40 回ユネスコ総会時 (2019 年、ユネスコ本部) (右下)

## ●プログラム

16:30-16:45 趣旨説明

参加者自己紹介

16:45-17:15 「ユネスコで仕事をするというこ  
と—ユネスコ日本政府代表部での勤務  
事例—」 (前島美知子氏)

17:15-17:55 座談会

17:55-18:00 まとめ

### 【企画・進行】

日本イコモス EP 常置委員会メンバー

八並廉

萩原安寿

脇園大史

古賀大智

## ●申込方法

下記フォームよりご登録ください。

(申込締切：2023 年 7 月 27 日 (木) 17 時)

<https://forms.gle/AJQV4nJHbPftq1we6>

※ウェビナー参加の URL は開催日

前日にメールで送付いたします。

【お問い合わせ先】 [jpicomos@japan-icomos.org](mailto:jpicomos@japan-icomos.org)



主催：日本イコモス EP (若手専門家) 常置委員会